

みんなで作る循環型農業(発酵利用の自然養鶏と畑作り) (特定非営利活動法人障害者の地域生活を支援する会)

<法人の概要>

所在地：山形県山形市鉄砲町3-1-31

設立：1995年4月

役員：7名（うち農業従事者1名）

農場従事者数：8名

経営面積：0.3ha 農場：ふくふくホーム（山形県東村山郡山辺町大蔵）

営農作物：鶏卵・紅花・菊・里芋等（鶏の羽数 約300羽）

農業開始時期：平成26年10月

関連施設：サポートスクエアぱおぱお 就農継続支援B型事業所

場所：山形県山形市円応寺7-10 利用者数：20名

<農業参入に至った経緯・動機>

当法人の目的である、①障害者の働く場所作りと人に喜ばれる付加価値のついたものを販売し、障害ある方の労賃につなげていくこと、②使われなくなった農地を有効利用し、自分たちだけでなく地域と地球にとって幸せな取り組みとしていき、生き生きと働いていくことを、農業を通して実現していきたいと思い、農業参入しました。



鶏小屋での作業状況



鶏小屋で生まれたひよこ

<農業参入することを決めてから営農開始まで>

循環型農業を実践するための農地を借りるに当たっては、地域のたくさんの方々に協力してもらい、つないでもらい、支えてもらい、自然豊かな現在の場所を確保することができ、鶏小屋を建築し、育雛の準備を進めました。

<営農開始から現在まで>

営農してから丸一年が経過し雪深い地域ですが、夏は涼しく、自然環境もよく空気も新鮮と鶏たちにとって良好な環境であることから、この地域において、循環型の自然に近い形での養鶏を中心とした農業を実施しており、有効な食品残渣を利用し発酵技術を使って品質のよい餌を生成し、それを食べたニワトリがする糞（臭いが無い）を堆肥として利用し、畑の作物を栽培する無駄のない循環した農業を展開しています。

また、薬剤に頼らない自然に近い形で飼育した健康な鶏が生む卵は、ハウユニット（鮮度）が高く良質であることから、付加価値を付けて販売しています。その収益は障害ある方の労賃に還元しています。

また、地域で生産している豆腐、おふ、そば粉、お米、麦、パン、野菜などの規格外の食品残渣も頂いて有効利用しています。発酵技術を利用することによって地域で有益なサイクルが構築され、地域の住民との良好な関係も築くことができ、地域、地球にとっても良好な循環となっています。

卵は、スローフードのレストラン、関東圏のホテル、自家農園の食材にこだわりのある喫茶店、個人の消費者などに販売しています。



農場従事者のみんな



ハウユニットの高い良質の卵

<今後の農業経営の展開方向>

ハウユニットが高い良質の卵によるお菓子作りや地域で作った野菜や特産物を扱った売店の建設を計画し、付加価値のある生産物等を提供し、地域にも収益を還元していくことを検討している。今後も、小規模で良質な卵を作っていく、かつ、法人のマンパワーを活かし様々な人と協力することで、地域にとっても良い環境を維持・発展していきたいと考えており、他の地域にもモデルとして波及することを期待している。